

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表日: 令和元年 6月 8日

事業所名 通所支援事業所 フレンドロコペリ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	2	職員の配置数は適切であるか	6		以前より職員が増えた。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1		プレイルームが入り口にあるため身支度をするまでに気が散ってしまう。各部屋の扉が弱くなっており危険。製作部屋の仕切り扉が倒れてくることがあるため対策を行う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		活動内容によって、場の設定や部屋の使い方などをスタッフ間で検討している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		ミーティングを毎日行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		実施結果をスタッフで周知し、改善策を話し合っ活かしている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		ホームページで公開	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	第三者評価としてではなく他の事業所の評価はもらうようにしている	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		支援に必要なスキルを身に付けたり、他事業所の方と交流するため、外部研修に参加している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		今年度よりなぜなぜひもときシートを使って子供の状況をアセスメントしている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1		全利用者のファイルをすべて確認し、支援計画を職員間で把握する。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		個人作成の計画にならないよう、立案・検討の時間を設けている。全員で支援内容を決めることで、視点が分かりやすくなった。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		年間計画をもとに、発達段階に沿ったプログラムとなるように計画している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4	2		状況を把握できていない日があるため、一人一人を個別と集団で支援できるようにする。課題や内容によって、個別支援を行っていく予定。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	個人の計画にならないよう、他スタッフの考えも取り入れながら立案し、把握できるようにしている。	できている日やできていない日があり、事後報告の時間があるため、改善する
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		カンファレンスの時間を設け、毎日行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		かかわるスタッフそれぞれの視点を生かした記録となるように周知し、丁寧に記入してもらっている。	
20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		幼稚園・保育園を含め、かかわる人たちと連携をとりながら情報収取・交換もおこなっている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	保健師さんも交え、会議の場で情報収集したり、意見を伺ったりしている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	1		今年度より加治木温泉病院小児発達外来との連携を取りながら子供の発達状況や療育の成果などの評価を行う予定
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	1		今年度より加治木温泉病院小児発達外来との契約を行い医療ケアの必要な子供たちのケアもできる体制づくりを行っている
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	送迎時に療育での様子や保育園での様子の情報交換を行う	情報共有ができていない部分もある。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1		移行シートを記入するにあたり、細かい部分までアセスメントして学校等とより深く情報共有を行う。子ども部会などにも、必要に応じて出向くようにする。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		6		ほとんどの子供たちが保育園や幼稚園での並行利用をされているので特別に行っていない
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	3	主任・および児童発達支援管理者が主に参加	今後は保育士も参加して意識の向上に努める
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			保育園送迎の保護者と話をする機会が少ない。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	2	虹色スイッチの会ではペアレント・トレーニングの内容で研修を行う月もある		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		利用開始時及び質問時は必ず説明し保護者の確認をいただいている	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		毎回面談の時に保護者との話し合いの中で支援計画を作成修正しながら支援計画を作成している	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		事業所内面談を随時 及び年2回5月10月に開催している	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		虹色スイッチの会を毎月開催	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		報告、相談し、早急に日程調整を行っている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		月の予定は発行しているが、会報などはない。→定期的に会報を発行する予定。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		LINEで個人的な写真や活動の様子を送るなどの工夫をして支援の内容の見える化を行っている	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	保護者会などは地域の方も参加できるようにしている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	職員研修の中で定期的に確認を行うようにしている	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		定期的訓練を継続して行う。	定期的訓練を継続して行う
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		カルテの表紙に記入	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		保護者からの情報にて、対応している事業所への指示書提出など検討
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		外部研修に参加している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	1		